

議員提出議案第2号

平和、いのち、くらしを壊す大幅な軍備拡大に係る、
『安保3文書』の撤回を求める意見書の提出について

上記の議案を別紙のとおり南相馬市議会会議規則第14条第1項
の規定により提出いたします。

令和5年7月3日提出

南相馬市議会議長 平 田 武 様

提出者	南相馬市議会議員	渡部	一夫
賛成者	南相馬市議会議員	櫻井	勝延
〃	〃	郡	俊彦
〃	〃	鈴木	昌一
〃	〃	今村	裕
〃	〃	渡部	寛一

平和、いのち、くらしを壊す大幅な軍備拡大に係る、『安保3文書』の撤回を求める意見書（案）

第211回通常国会で成立した2023年度予算は、軍事費が前年度比26%増の6.8兆円と過去最高を更新し、24年度以降に軍事費に充てる「防衛力強化資金」3.4兆円と合わせて10兆円を超える軍備拡大予算となっています。

これは岸田政権が昨年末に閣議決定した、敵基地攻撃能力保有と5年間で43兆円の大規模な軍備拡大を明記した「安保3文書」を具体化する中身で、トマホークの大量購入など米国製の武器輸入も計上しています。その財源は、社会保障費削減などの「歳出改革」や建設国債の発行など国民に負担を押し付ける中身となっています。

物価や光熱費の高騰が暮らしと営業を直撃し、年金削減や後期高齢者医療費の窓口負担が2倍になるなか、「もう生きていけない」と悲鳴が上がっています。そのような中で後期高齢者医療の保険料引上げ、介護保険の利用料2割負担の対象拡大や介護保険料引上げなどの改正で社会保障の歳出削減が目論まれています。岸田首相は「異次元の少子化対策」と言いますが、具体策は何も見えてきません。各種の世論調査では「防衛費増額の財源を確保するための増税」に反対する人が6割を超え、防衛費増額に「反対」が「賛成」を上回ってきています。国民は決して大幅な軍備拡大と増税に賛成していません。

大幅な軍備拡大はアジアの分断と緊張、軍拡競争に拍車をかけ、日本が戦場になる危険性を高めるものとなります。政府がやるべきは「戦争準備」ではなく、国民の暮らしを支える社会保障・教育予算の増額です。

復興途上にある原発事故被災自治体として、大幅な軍備拡大予算の財源として復興特別所得税が含まれることにも容認できません。憲法9条を持つ我が国が政治の責任として行うべきことは、「戦争準備」ではなく、対話と外交によって戦争にしないための「平和の準備」に他なりません。

以下、南相馬市議会として要請いたします。

記

- 1 平和、いのち、くらしを壊し、国民に負担を押し付ける大幅な軍備拡大や増税はやめること。
- 2 大幅な軍備拡大が背景となる「安保3文書」は、国民や国会に事前に一切内容を示さず、閣議決定されたものです。このような決め方を改めるため、「安保3文書」を一旦撤回し、改めて、広く国民に知らせ、国会で議論し民主的解決を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

令和5年7月3日

福島県南相馬市議会議長 平田 武

内閣総理大臣 様

財務大臣 様

総務大臣 様

復興大臣 様

厚生労働大臣 様